



門高通信

～平成 29 年度第 9 号～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡 5 の 3

TEL:0768-42-1161 FAX:0768-42-0009

ホームページ:<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~monzeh/>

メールアドレス:monzeh@m1.ishikawa-c.ed.jp



球技大会！

12月12日に球技大会が行われました。男子はバレーボール、女子はバスケットボールを行いました。どの試合も白熱した戦いになりました！

31H 崎田 祐介（門前中学校出身）

高校生活最後の球技大会、私達31HAチームが優勝できました。初戦から試合が進むにつれ、みんなの動きもよくなっていき、後半の試合では綺麗な攻撃も増えていきました。途中何度か危ない場面もありましたが何とか決勝へ進み、決勝もフルセットのデュースという接戦でしたが、皆それぞれ活躍し勝利を掴めました。

高校最後の球技大会を優勝で飾ることができて本当によかったです。

21H 南口 純菜（門前中学校出身）

12月12日に校内球技大会がおこなわれました。初戦は1年生と戦い同点のまま終わり、それから後の試合が不安になりました。それでもその後の2試合は勝つことができ、決勝トーナメントに進むことができました。そこでの2試合は同点で終わってしまい、どちらとも延長戦で戦って勝つことができました。チーム全体として 体育ではなかなかできなかったパス回しなどが試合の中でスムーズになったりと成長できたことで勝つことができたのかなと思いました。

どの試合も楽しくすることができたのでよかったです。



男子：バレーボール



女子：バスケットボール

1人住まいのお年寄りへの年賀状作り

年賀状を書く時期がやって来ました。皆さんはもう書きましたか？ 私たち門前高校はこれまで、門前(町)福祉協議会のご協力を得て、平成元年度から門前地域で一人住まいをしているお年寄りに年賀状を出してきました。門前地域では 現在500名余りのお年寄りが1人で新年を迎えようとしています。生徒1人6枚ずつ作成しました。今年も心温まる年賀状を差し出したいと思います。

読書タイム実施

11日から15日にかけて、朝30分読書する「読書タイム」が行われました。



心を込めて、かきました！

ふるさとに未来の種を蒔こう 石川県立門前高等学校

中高特支合同そば作り！

12月14日（木）、講師に登間佐久子さんと山下あさ子さんをお招きし、門前中学校、七尾特別支援学校輪島分校、門前高校合同でそば作りを行いました。初めての経験に戸惑う生徒も多かったですが、無事に完成させることができました。

15日（金）には生徒会役員が、近隣の施設に作ったそばを配りました。喜んでいただけたなら嬉しいです。



歳末助け合い募金実施！

11日から13日にかけて生徒会役員が主体となって歳末助け合い募金を行いました。多くの生徒が募金活動に協力してくれました。

土曜学習サポーター

11月18日（土）、1年生5名が門前中学校の土曜授業に学習サポーターとして参加しました。1限目は1年生の英語に参加し、先生の紹介文を作成するというグループ活動の際に、単語の綴りを教えたり、一緒に英文を考えたりと、中学生がよい紹介文をつくれるよう頑張っていました。2限目は3年生の数学、3限目は1年生の数学に参加し、計算コンテストに向けた練習問題の丸付けをしたり、解き方を指導したりしました。一人ひとりに丁寧に指導できていて、とても頼もしく感じました。

1月

行事予定

- 4日 冬季自主学習(2年)
- 4~5日 センター同時刻演習
- 9日 始業式
- 12日 センター試験結団式
- 13~14日 センター試験
- 15日 交通安全指導
- 17日 同窓会本部総会等
- 19日 図書館講座
- 21日 全商情報処理検定
- 22~26日 クリーン週間
- 28日 全商簿記実務検定
- 30~2日 学年末考査(3年)

Out putとその先 教頭 長田 弥十雄

去る11月に、全校生徒が「人権講話」を、1年生が「おもてなし講座」を聴きました。どちらの話とも興味深く、生徒が今後学校生活を送ったり、友人と付き合ううえで参考になる内容でした。生徒の感想文を見ても、「内容に満足」「役立った」というものが多く、有益だったと感じていることが伺えます。生徒の聴く態度も満足できるもので、ほとんどの生徒は熱心に耳を傾け注意深く聴いている様子が伺えました。

ただ、どちらの講話でも、講師の「質問はありますか？」との問いかけに対して、リアクションがなかったのは気になりました。生徒の中には、内心「この箇所についてもう少し深く聞いてみたい」「ここはどうなんだろう」という思いを持った人もいたはずですが、発言する人はいませんでした。また、講師から問いかけられた時、返答に窮する場面があり、門高生の「おとなしい」部分が露呈された形となりました。

日本では、「謙虚さ」や「阿吽の呼吸」というコミュニケーション形態が求められる場面があります。また、「間違えていないか」「失敗したらどうしよう」という気持ちが、積極的な発言を躊躇させるかもしれません。しかし、今後更に多様化・グローバル化する社会においては、様々な場面で自分の意見を積極的に述べるのが求められます。「沈黙は金」の価値観は、今や時代の趨勢とは相容れなくなっているのです。本校の「スクールポリシー（学習指導方針）」(2)においても、「自分の感想や意見を書いたり述べたりする」ことが校是として謳われ、授業でも、「主体的・協働的で深い学び」が実践される中で「表現し、批評し合う」活動も盛り込まれています。生徒は、そういった授業や活動を通じて、発信力を身につける必要に迫られているのです。

もとより、Social Media を使った自己表現・自己発信は、若い生徒が得意とするところだと思います。その能力を、リアルの世界でも発揮して下さい。さらに、一方的に伝えるだけでなく、相手の生の反応を確かめながらやり取りをし、「発信力」だけでなく、「対応力」を身につけることも肝要です。そうすることで、互いの理解を深め、相手とのより豊かな関係を築いていきましょう。